

教育・福祉・保健の連携に伴うワーキングチーム会議の進捗状況について

1 ワーキングチーム発足の経緯

このワーキングチームは、教育委員会主催の子ども未来室検討委員会を通じて、教育・福祉・保健の関係課との連携強化を目的に、ワーキングチームが発足しこども支援部、福祉部、健康推進部、教育委員会の中から選出し月1回ペースで開催。

来年2月に開催される子ども未来室検討委員会において、これまでの結果を提示したいと考え、現在も協議しているところです。

2 進捗状況について

現在、ワーキングチームとして出席している各部署より連携に伴う課題と現状を抽出、ワーキングチームとしての目標設定を立て、キーワードを「切れ目のない支援」とし各部署にて理想として列挙したことに対し理想実現のためにどうすれば良いかを抽出、抽出した中から県のサポート手帳の活用、相談における関係部署への情報提供に対する同意書の共通化、各部署で連携していることが分かるようなPR方法など、すぐに実現が可能な内容について、各部署に持ち帰り検討していただいている状況です。

第1回（6月）

3課（こども支援課、地域保健課、学校教育課教育センター）にて開催。

3課の現状と課題を出すとともに、他の関係課（保育幼稚園課、青少年課、障害者支援課、障害者基幹相談支援センター）にも参加してもらい協議を深めたい。また、会議の主導をこども支援課にて行う。

第2回（7月）

新たに加わった4部署においての現状と課題を出してもらう。ハード面だけでなくソフト面でも連携が必要であると一致。今後の会議において目的と目標を整理する必要があることから、各部署で目標設定について挙げてもらうよう指示をする。

第3回（8月）

ワーキングチームにおいて会議で目指すべきところ・決定すべき事項の明確化として、協議を進めることにし、目標を「切れ目のない支援」と設定。理想実現のための意見を出し合い、出た意見について、各部署で持ち帰り検討し次回で報告を行う。

第4回（9月）

各部署にて持ち帰った意見に対する報告を行い、その中で直ぐに実行に移せるような内容について「情報共有の同意書の共通化」、「連携体制のPR」、「サポート手帳の活用」に絞り、実行していく上でワーキングチーム全体としてどうすれば実行できるかなどを各部署で持ち帰り再度検討を行うこととした。

3 今後について

来年2月に開催される子ども未来室検討委員会に向けて、これまでの結果を報告するも、協議は継続する必要があると思っており、相談者が各部署の窓口で何度も説明しなくても支援できる方法の確立や、所管を越えた情報の共有や集約についてより望ましいシステム構築（特にハード面のシステム構築）に取り組む必要があるため、こちらの連携の先行きが見えるまでは協議を続けていきたいと考えております。